

南あわじ市 平成 19 年度 事務事業評価シート 新規 継続
(団体用)

I 基本事項

整理番号 1392

事業名	青少年健全育成推進会議		予算科目	会計	一般会計・1
担当部課名	教育部	生涯学習文化振興課		款	教育費・10款
電話	0799 - 37 - 3020			項	社会教育費・5項
事業分類	<input type="checkbox"/> 義務的(法定)事務 <input checked="" type="checkbox"/> 任意的(自治)事務	法的根拠 (法令、条例、要綱等)		目	青少年教育費・9目
南あわじ市総合計画 施策体系	まちづくりの柱	人づくり_知恵あふれ_郷土愛が満ちるまちづくり_			
	まちづくりの目標	一人ひとりが明日を拓くリーダー【教育】			
	施策目標	南あわじ市をよくする地域活動に、生きがいや使命を見出すNPO や市民団体を育てる			

II Plan&Do (計画・事業内容、団体内容、投入資源)

事務概要	目的	対象(誰を・どのような状況の人を、構成員内訳) 南あわじ市青少年健全育成推進会議				構成人数(人) 3,000
	実施内容	活動目的(どのような状態になってもらいたいのか、事業を実施する「本来の目的」を記入) 青少年がスポーツ活動や文化活動で複雑な現代、自ら選択し、参加できるようなシステムの構築と事業のバッティングの防止。				
		(主な事業、活動内容等) 各種団体の長や青少年活動の長に委員になっていただき、年間行事を協議し、全体的計画をする。特に教育委員会内でのバッティングを避けるために、各委員に公表する。また、開催事業へ出向き、青少年の動向を察知し、翌年への事業計画案を提案する。				
	団体の概要	(どのような団体か、活動目的、活動内容など) 青少年活動を行う団体及び個人等が多い中、日程が個々により決められている。子どもたちにとっては、いろんな事業に参加をしたいのに、バッティング等で選択の幅が少なくなってきた。それを調整したり連携したりする機関が必要になったため。				
		事務局の所在 (直接事務執行部署)	<input type="checkbox"/> 補助団体	<input checked="" type="checkbox"/> 市役所	<input checked="" type="checkbox"/> 市単位 (生涯学習文化振興課)	<input type="checkbox"/> 旧町単位 ()
	補助金算出根拠	会議費と主催事業運営費を積み上げて算出				
	補助交付期間	<input type="checkbox"/> 平成	年度	~	平成	年度
合併協議事務調整内容	(合併前における事業実施団体と合併時における事務調整経緯)					
	<input type="checkbox"/> 旧緑町	<input checked="" type="checkbox"/> 旧西淡町	<input type="checkbox"/> 旧三原町	<input checked="" type="checkbox"/> 旧南淡町	<input type="checkbox"/> 旧広域事務組合	<input type="checkbox"/> 新市から

		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
資源配分 インプット	直接事務費 (千円)	182	182	100	100
	青少年健全育成推進会議補助金	182	182	100	100
	事務局事務費(市が事務局の場合)				
	財 源 (千円)				
	国				
	県				
	起債				
	その他				
	一般財源[A]	182	182	100	100
	人件費(正規職員)[B] (千円)	0	0	0	0
	平均人件費(1日当り)	30.7	29.9	30.1	30.1
	事業量1(事業に要した日数)				
	事業量2(事業に要した人数)				
	年間経費([A]+[B])	182	182	100	100
「構成人数」一人当り経費 (千円)	0.1	0.1	0.0	0.0	
受益者人数(3,000)一人当り経費(千円)	0.1	0.1	0.0	0.0	
経費に関する 補足説明	会議代と主催運営費				

Ⅲ Check (事業の自己評価・一次評価)

費用対効果	(費用対効果の分析、問題点・課題などを記入。) どうしても夏休みにスポーツ・文化・体験活動が集中し、教育委員会主催事業や子ども会事業を運営するのが困難になってきている。 本来、機能すれば素晴らしい機関であるが、現代の社会において、スポーツ団体を中心に子どもたちは動いているといっても過言では無く、この状況を上手く調整すれば子どもたち、保護者において非常に有効である。 各委員の連携と任務遂行面で若干、効率性が悪い。	自己評価 (5点評価) 3
	公共性の高低 <input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低	
必要性	(公共性、市民ニーズ、緊急性などを分析、問題点・課題などを記入。) とりあえず現在は、各種団体の行事予定を聞き、教育委員会内で調整を行っているが、それでも微力ながら必要性が見えてきている。	自己評価 (5点評価) 2
	自己評価をふまえた現状分析 現在、教育委員会内全て、事業先行型で、調整等が後回しになってきている。特に生涯学習文化振興課内での事業調整だけでも非常に困難である。 スポーツの日程を知り、地域の行事を知ることが、教育委員会の主催事業の日程決定において最重要である。	
総合評価	<div style="text-align: center;"> <p>費用対効果 3 必要性 2</p> </div>	

IV Action&Plan (改善・改革の内容及び次年度以降の計画)

	平成20年度にできる改善・改革	平成21年度以降にできる中期的な改善・改革
	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事務局変更 <input type="checkbox"/> 手法見直し <input type="checkbox"/> 予算充実 <input type="checkbox"/> 予算削減	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事務局変更 <input type="checkbox"/> 手法見直し <input type="checkbox"/> 予算充実 <input type="checkbox"/> 予算削減
今後の方向性とその理由	<p>わんぱく塾内の運営にて、併せて行なう事により廃止する。内容等は変わらぬものを考え、わんぱく塾運営委員会を充てる。</p>	
(現状維持以外の改善方法)	<p>わんぱく塾内の運営にて、併せて行なう事により廃止する。</p>	
改善によって期待される効果	<p>従前と変わらない内容等で実施でき、補助金が削減できる。</p>	
(現状維持の場合も記入)	<p>仮に補助金、交付金を廃止した場合に予測される影響(プラス面、マイナス面)</p> <p>スポーツ活動や文化活動に係る事業のバッティングなどにより、青少年が自ら選択し、参加できる機会が少なくなる。ただし、同様の活動を他団体等で実施できれば廃止の影響は少なくなる。</p>	